



平成 20 年 2 月 8 日

各 位

会社名 新 電 元 工 業 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 小田 孝次郎
 (コード番号 6844 東証第 1 部)
 問合せ先 経営企画室企画部長 田中 信吉
 (TEL. 03 - 3279 - 4431)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 11 月 2 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正

通期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の連結業績予想

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	100,000	4,000	2,500	1,000
今 回 修 正 予 想 (B)	98,700	400	2,800	3,000
増 減 額 (B - A)	1,300	4,400	5,300	4,000
増 減 率 (%)	1.3	-	-	-
(ご参考) 前期実績	102,054	6,051	5,114	2,646

2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想の修正

通期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の個別業績予想

(単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	93,000	1,800	2,500	1,800
今 回 修 正 予 想 (B)	91,100	1,800	1,600	1,000
増 減 額 (B - A)	1,900	3,600	4,100	2,800
増 減 率 (%)	2.0	-	-	-
(ご参考) 前期実績	91,582	2,162	3,266	1,651

3. 修正理由

デバイス事業では、車載市場を中心に堅調な需要が見込まれるものの、円高や液晶 TV 市場における競争激化に加え、原材料費高騰や製品補償費用などの原価高が収益を圧迫する見込みであります。

機器事業では、パワーシステム製品の需要低迷が続き当初見込んでいた収益の改善が望めず、電装製品においても、円高の影響や一部地域の需要が弱含みで推移することにより、当初の予想を下回る見通しであります。

さらに、急激な円高による為替差損の発生などにより、業績予想を上記の通り修正することといたします。

このような状況を踏まえ、事業の再構築と成長分野への経営資源の集中を加速し、収益基盤の確保・品質向上に向けグループをあげて取り組んでまいります。

なお、期末配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、当初の予想どおり 1 株当たり 3 円 50 銭（年間 7 円）とさせていただく所存であります。

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる可能性があることにご留意ください。

以上